

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	職員がご利用者様の情報を頭に入れた介護が出来ていない 一人一人のファイルを読み込んで既往症や、認知症のタイプを把握出来ていない。 これからはそれぞれの認知症にあったケアをしていく	ご利用者様を興奮させない。 対応を間違え興奮したさいは二次対応が確実に出来るようになる。	職員には認知症の学習を、期間と回数を決め継続していく。ホーム内の事例検討会を実施	8月
2	5	職員が定着しない	離職率0%を目指す	3か月、6か月の自己評価を基にヒヤリングと研修を実施する。その後も半年ごとにヒヤリングと外部からの講師による多様な介護実施研修を行う事により、職員の意識を高めて行く	8月
3	1	レクリエーションが不十分である。 できればデイサービスのような大人数で楽しめる 場面を増やしていきたい。	毎日、レクを実施。 どの職員もレクが出来るようになる。	毎日午前・午後1回ずつ各30分を目途に実施する。	4月
4	3	一部職員による言葉による拘束などがまだ見られる。ご利用者様の自由が脅かされている。 職員からの観点から「違いますよ」など否定文を使っている場面がまだ見られる。	「立たないでください。」や「これをしたらこうしましょう」など取引の会話などをせず、認知症の方の気持ちを真摯に受け止め否定しない対応を出来るようにする。パーソンセンタードケアの実現	他の介護職員が不適切な会話をしている時には必ずその事を話題に出来る(改善に向け議論できるように)する。職員間のオープンな雰囲気づくり	4月
5	4	運営推進会議などにご家族様の参加がいつも2組ほどで、ご家族のご意見や要望等聞く機会がない、当然家族会などを作るはずもない、 (皆さん忙しがっている)	医療、自治区の方、ご家族、有識者が参加する 運営推進会議が出来るようになる。	ご家族が少しでも来やすいようにと土曜日に開催したりしているが、あまり変わらない、アンケートなどでどうしたら参加してもらえるか今後も考えて行く	12月